

川上ダム通信

2023
1
月号



令和4年5月1日に
設立60周年を迎えました

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

【名張事務所】☆お問い合わせはこちら

〒518-0413 三重県名張市下比奈知 2811-2 TEL: 0595-52-3690 (代)

【管理棟】〒518-0298 三重県伊賀市阿保 2171-12

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中！

https://twitter.com/jwa_kawakami



Vol. 210
Since 2005

ご意見・ご感想はこちらへ

<mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。平素より川上ダム建設事業に対しまして、ご理解、ご協力を賜り御礼申し上げます。

川上ダムは令和3年12月16日(木)より、試験湛水を開始し、令和4年12月21日(水)時点で貯留量は約20,300,000^m、貯水率は約65.5%となっています。現在までダム堤体及び貯水池周辺斜面に対し、試験湛水を中断するような変状はなく、日々安全確認をしながら貯留を続けています。



左から 津久井所長、花田副所長(事務)、
宮本副所長(技術)

令和4年の事業は、流入水バイパス工事やダム周辺の整備工事、各種設備に対する有水試験や曝気設備工事、堤体頂部の建屋工事や借地箇所の整備工事等を行いました。

8月には三重県伊賀市阿保にありました川上ダム建設所からダム右岸側にある川上ダム管理所と名張市にある木津川ダム総合管理所に別れて職員が移転し、執務を行っています。これに伴い、伊賀市阿保の川上ダム建設所は約26年の役目を終え、取り壊しが完了したところです。

この他、ダム周辺の整備工事も急ピッチで進めており、1月中旬頃にはこれらの工事も完了する見込みです。工事終了後は、ダム堤頂部を開放し、これまで自由に見学することが出来なかった試験湛水の状況をダム堤頂部より一望出来るようになります。より多くの皆様のご来場をお待ちしております。なお、ダム開放の日時や駐車場などのご案内、ご見学時の注意事項についてはホームページ等でお知らせします。

最後になりますが、今年度は新型コロナウイルスに加え、インフルエンザの流行も懸念されています。寒さ厳しい日々が続きますが、今年一年の皆さま方のご多幸とご健勝を祈念しますとともに引き続き川上ダム建設事業につきまして、格別のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【所長 津久井正明】

川上ダム水源地域ビジョン策定 & ダム湖名決定！

— あおやま川上湖 —

令和4年11月30日（水）に川上ダム水源地域ビジョン策定委員会が開催され、岡本市長、川上ダム建設所津久井所長、木津川ダム総合管理所國枝所長の3委員により、水源地域ビジョン及びダム湖名選定について審議されました。

水源地域ビジョンについては、「木津川源流体験」、「水源地域散策会」、「ダム施設見学会」など26項目の具体的取組が策定されました。この水源地域ビジョンに基づき、地域の皆様と一体となって水源地域の活性化に取り組んでまいります。



水源地域ビジョン策定委員会のようす



ダム湖名発表のようす

(左から 國枝所長、岡本市長、津久井所長)

ダム湖名については、一般募集で応募のあった625件より、水源地域ビジョン策定作業部会にて一次選考した5案を候補案としました。委員会では「あおやま川上湖」及び「青山川上湖」の2案を選定し、改めて、委員会で議論することとしました。12月6日（火）に開催した委員会において、柔らかい感じがあり、皆様に親しんでもらえるイメージがあることから「あおやま川上湖」に決定し、伊賀市役所にて伊賀市長よりダム湖名の発表がありました。

この新しい「あおやま川上湖」が地域の皆様に親しまれ、長く愛される川上ダムとなるよう地域の皆様とともに歩んでまいります。

【調査設計課 水野正明】

川上ダムモニタリング部会を開催しました

川上ダムでは「ダム等の管理に係るフォローアップ制度」に基づき、ダムによる環境影響の有無を把握するため、湛水開始前の令和2年度からモニタリング調査を実施しています。調査結果については有識者委員による川上ダムモニタリング部会において分析・評価を行い、川上ダムの適切な管理に資することとしています。

令和4年12月16日（金）に第4回モニタリング部会を開催し、湛水開始後の水質状況や希少猛禽類の繁殖状況や移植植物の生育状況等の調査結果を報告し、ダムによる影響等について審議を行い、委員から指導助言をいただきました。

モニタリング調査は令和6年度まで実施し、ダムによる影響有無の評価を行っていく予定です。



調査で確認した猛禽類（ノスリ）



モニタリング部会のようす

【環境課 川崎彩花】



法令遵守研修が実施されました！



令和4年11月18日（金）、水資源機構の顧問弁護士である高田法律事務所の高田弁護士を講師として、法令遵守研修が本社において開催されました。

当機構では、毎年11月を「コンプライアンス推進月間」として定め、様々な取り組みを集中的・重点的に実施することにより、職員一人一人のコンプライアンス意識を向上させ、さらなる定着を図ることを目的としております。法令遵守研修もこの取り組みのひとつであり、当建設所のほか機構の各事務所へはWEB配信され、全職員が必ず受講することとされています。



啓発ポスター



当建設所職員も受講しました

今回は「外部関係者との適切なコミュニケーションについて」をテーマに、「独立行政法人におけるコンプライアンス」、「公益通報者保護制度」、「外部関係者への対応について」の3項目の講義を受けました。コンプライアンスの基礎からはじまり、実践的な内容の講義を受け、あらためて法令遵守の重要性を学ぶ良い機会となりました。今後ともあらゆる場面で法令を遵守し、業務をすすめてまいります。

【総務課 奥野紗江】

令和4年度技術研究発表会 開催！

令和4年12月6日（火）に、本社にて令和4年度（第56回）水資源機構技術研究発表会が開催されました。本発表では、9月に開催された関東、中部、関西、四国および九州の各ブロックにおける技術研究発表会にて審査委員より選出された、水資源機構の業務における先進的事例や意欲的な取り組みに関するテーマについて、計19題の発表がなされました。19題の内、当建設所からは2題の発表を行いました。なお、関西ブロックにおける発表については、ダム通信10月号（Vol. 207）にて紹介しています。全ての発表の終了後、講評を経て審査結果が発表され、全19題の内、理事長賞3題、特別賞2題が選出されました。

筆者も当該発表会に参加し、川上ダム建設所で構築中のダム管理業務の効率化・高度化を目的としたシステムの概要について発表を行いました。結果、賞をいただくことはできませんでしたが、その他幅広い分野の発表を聴講することで、自らの知見を深められたと感じています。また、発表の場をとおして、他者への説明力を高める機会にも恵まれました。この経験を活かし、次の機会では賞もいただけるように、日々研鑽を積んでまいります。

川上ダム建設所より発表

題名：川上ダムにおける管理の効率化に向けたCIMの構築について
発表者：北爪 皓（管理課）

題名：新粗石コンクリート工法による水叩き部の施工について
発表者：山下祥平（工事課）

【管理課 北爪 皓】

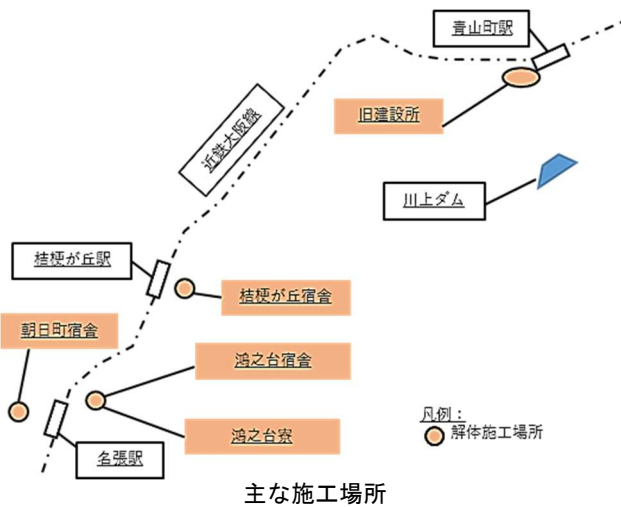
～川上ダムにおける解体工事について～

川上ダムにおける事務所移転に伴い、令和4年8月19日（金）をもって閉鎖しました旧事務所（伊賀市阿保251番地）の解体工事についてお知らせいたします。

本工事は旧事務所のほか職員の寮、宿舎、雨量計や水位観測所の局舎などの解体も行っております。

現在は一部の宿舎を除き、取り壊しが終わりました。最終的には土地は更地等にし、令和4年度内に完了を予定しております。

今年度末に、川上ダム建設事業の完了を予定しておりますが、引き続き、職員一丸となって業務に取り組んでまいります。



解体前の旧事務所



解体中の旧事務所



解体中の旧事務所



解体後の旧事務所

【工務課 山田 聖】

編集後記

明けましておめでとうございます。

令和5年の1月となり、現在建設所職員は、3月の建設事業完了に向け慌ただしく業務を進めているところです。私も残り数か月、残った仕事を完了できるよう頑張りたいと思います。

ますます冷え込んでまいりましたので、皆様もお身体に気をつけてお過ごしください。

【広報誌発行事務局】

編集長 津久井（所長）

デスク 田島（総務課長） 松浦（工務課長）

記者 奥野（総務課）、北爪（管理課）、近藤（用地課）、山田（工務課）、山下（工事課）、土屋（機械課）

※先月号に掲載した「カワムツ」の写真は「ニゴイ類」のものでした。おわびして訂正します。

